

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【公開番号】特開2008-18110(P2008-18110A)

【公開日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2006-193489(P2006-193489)

【国際特許分類】

A 6 1 F 7/08 (2006.01)

A 6 1 F 13/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 7/08 3 3 4 N

A 6 1 F 7/08 3 3 4 B

A 6 1 F 13/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月13日(2009.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸素の存在下で発熱する発熱組成物を収容した扁平状袋体からなり、前記扁平状袋体が、少なくとも一部が通気性を有する通気面と粘着層を有する粘着面とを有する、貼付用温熱体構造物であつて、

前記粘着面が、発熱組成物と接する側に位置しており発熱組成物を通過させない内被シート(A)と、被着体と接する側に位置しており粘着層を担持する外被シート(B)とかなり、内被シート(A)は非通気性フィルム又は通気性フィルムと不織布との積層物であり、外被シート(B)は不織布、又は不織布と伸縮性ネットとの組み合わせであり、

前記内被シート(A)と外被シート(B)とが、周縁部で接着されており、かつ、該周縁部以外では未接着部及び/又は被着体貼付時に離れうる部分を有していることを特徴とする、貼付用温熱体構造物。

【請求項2】

前記通気面が、熱可塑性合成樹脂フィルムと不織布とをラミネートした通気性シートからなる、請求項1記載の貼付用温熱体構造物。

【請求項3】

前記内被シート(A)と外被シート(B)とが、周縁部以外でも部分的に接着されている、請求項1又は2記載の貼付用温熱体構造物。

【請求項4】

前記外被シート(B)が伸縮性を有するものである請求項1~3のいずれか1項記載の貼付用温熱体構造物。

【請求項5】

前記粘着層が剥離シートで覆われており、温熱体構造物が実質的に酸素を通過させない外袋に密封されている、請求項1~4のいずれか1項記載の貼付用温熱体構造物。